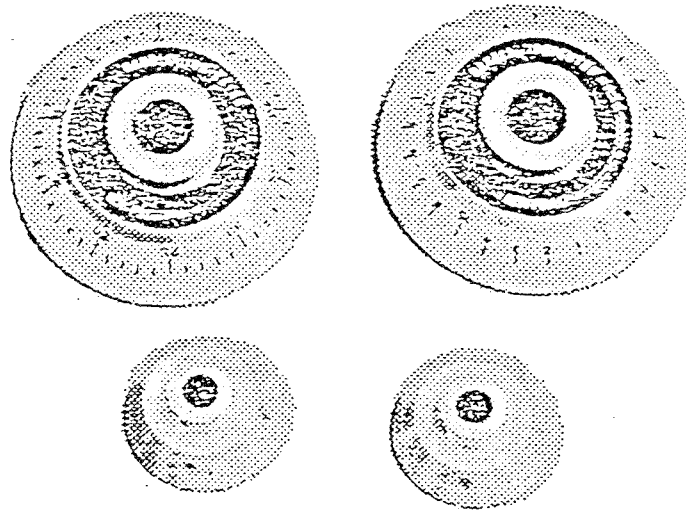


回転数指示計

INDEX HANDLE

差動型インデックスハンドル

取扱説明書



お願い : この取扱説明書は必ず最終
需要家までお渡してください。



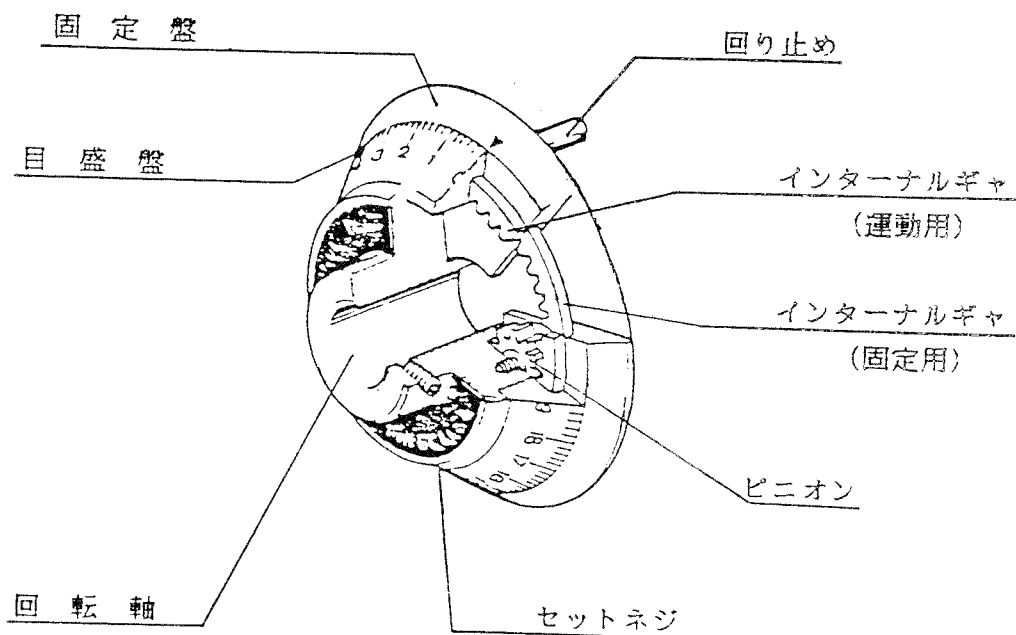
毎度お引立ていただき厚くお礼申し上げます。回転数指示計（差動型インデックスハンドル）をご使用にあたりその取扱い方を説明いたします。

1. 種類

インデックスハンドルには下記のような種類があります。用途に応じて適当なものをお選びください。

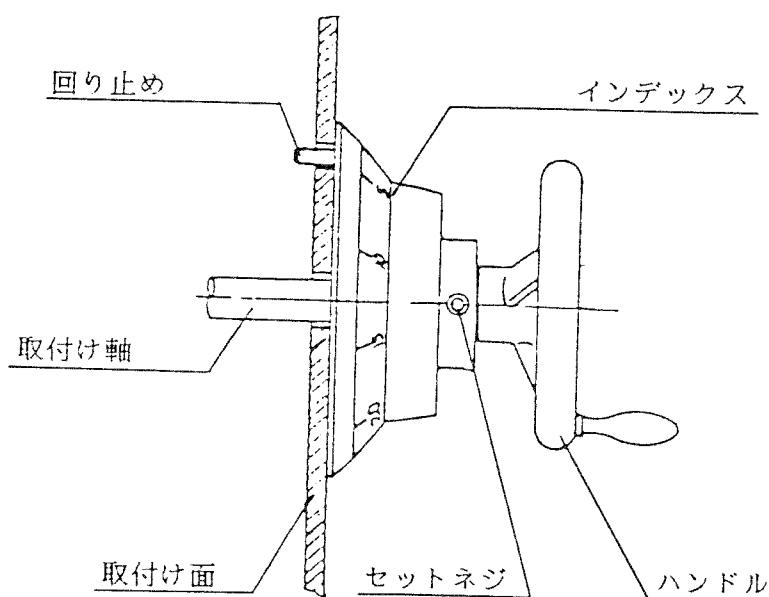
SD-100	1/25	右目盛,	左目盛,	目盛ナシ
SD-100	1/50	〃	〃	〃
SD-50	1/20	〃	〃	〃

2. 構造図

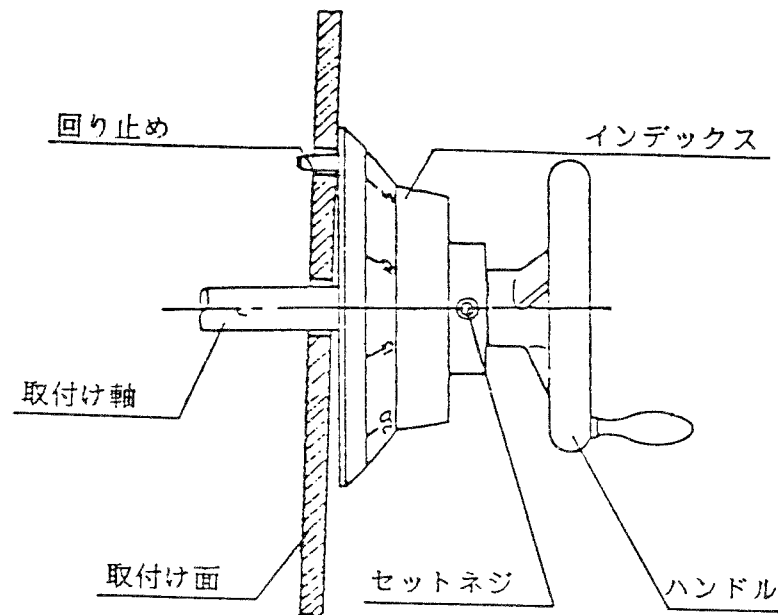


3. 取付け方法

- 1) 取付け方向は、縦・横・斜め等、全く制限はありません。
- 2) 取付軸は、回転させた時出来るだけ振れが少ないようにしてください。
- 3) 取付け面は、出来るだけ平らな面にしてください。
- 4) 取付け面と、取付軸との直角度は出来るだけよく出してください。
- 5) 取付け面と、取付軸とが上記2)～4)の条件を満足する状態の時は、
[図1]のような取付けを行なってください。
 - 1 この場合、インデックスハンドルを取付け面に強く押すようなことはさけて、軽く当てる程度として、セットネジで軸に固定してください。
 - 2 インデックスハンドルの先にハンドル等を取付ける場合、インデックスハンドル端面に軽く当てる程度とし、スラスト方向に無理な力を加えないようにハンドル等を固定してください。
 - 3 取付け面の回り止め用の穴はSD-50の場合は $\phi 5.5$ 、SD-100の場合は $\phi 6.5$ をあけてください。



[図 1]



[図 2]

- 6) 構造上などから、やむを得ず2)～4)の条件を満たせない場合には、
 [図2]のような取付けを行なってください。(出来るだけ、この状態での
 ご使用は、さけるようにしてください。)
- 1 この場合は、インデックスハンドルを取付け面に強く押すようなことは、
 とくにさけてください。
 - 2 インデックスハンドルを取付け面に軽く当ててみて、どこか一点でも当たる所
 があればそれ以上無理に押しつけずにセットネジで、軸に固定してください。
 - 3 インデックスハンドルの先にハンドル等を取付ける場合は、5)2のように
 してください。
 - 4 取付け面の回り止め用の穴は、5)3の場合より多少大きめにしてください。
 軸の振れが多い場合には、軸を回転させた時回り止めに無理な力が加わる
 ことがありますので、穴を大きくするなど、ご注意ください。
- 7) 取付け軸を回転させてみて、重いような場合には無理には回転させないでく
 ださい。このような場合は、インデックスハンドルを取付け面より0.5-1mm
 程度離して固定してみてください。

4. 保守・点検

とくに保守・点検の必要はありません。しかし、頻繁にインデックスハンドルを
 回す場合には中のギヤ部分に6カ月～1年に一回位グリースを給油してください。
 その場合、分解は固定盤側のストップリングを取りはずせば簡単にできます。
 ただし、必要ない限り分解することはさけてください。グリースは、できるだけ
 (リチウム系グリース)を使用し、あまり多く塗ると目盛盤等へ出てきますので、
 ごく少量にしてください。